

さんコープは「住み慣れた我が家で、地域で、安心して心豊かに暮らしたい」という願いを地域社会の中で実現します。

是非お友達も
お誘い下さい！

晩秋の風吹く関門海峡を眺めながら 美味しく楽しくゆったり過ごしましょう！

気候変動と自然の猛威を痛感させられる毎日、組合員の皆様はお変わりありませんか？
夏の疲れを癒したら、一緒に晩秋の空気を感じに行きましょう！今年も1日バス旅行、開催します！
皆で楽しく関門の風に吹かれましょう！沢山の方のご参加をお待ちしています！

- 日 時 2026年10月26日（月）
○行 先 下関唐戸周辺観光
○行 程 8：00 宮野事業所 ～ 湯田温泉バス停 ～ 新山口駅 ～ 小野田インターバス停 ～ 火の山公園 ～ 赤間神宮参拝 ～ 唐戸カモンワープ（昼食・自由時間12：00～15：30）～ 小野田インターバス停 ～ 新山口駅 ～ 湯田温泉バス停 ～ 宮野事業所 17：30 頃 ※ 上記時間は予定です。
- 参加費 ￥8,000/人 ※自由時間に海響館他を利用される場合の料金は含みません。
- 申込方法 事務局までお電話（083-902-3830）ください
※この機会にまだ組合員になっておられないお友達にも是非お声掛けください！
- 申込〆切 10/16（金）
- 定 員 40名



さんコープ応援増資ご協力をお願い

いつも「さんコープ応援増資活動」にご協力頂き、本当にありがとうございます。お預かりした出資金は施設設備の充実等に活用させて頂き、利用者・組合員の皆さまに喜ばれています。重ねて御礼申し上げます。

これからも幅広いサービスをお届けし続け、これまで以上に組合員・地域に貢献できるよう頑張ります。引き続き皆様からのご協力をお待ちしています。どうぞよろしくお願い致します。

出資金とは？

出資金は、さんコープの活動や事業の元手となる、組合員さんからお預かりする大切なお金です。既存事業の整備の他、新規事業の設備投資の際の原資の一部として活用させて頂きます。出資金が多ければ、銀行から借り入れ等をせずに済み、利息他の出費もなくなる等、さんコープの活動に幅やゆとりが生まれます。ご理解のほどよろしくお願い致します。



もう一つお願い…お引越し等でご住所、電話番号が変わる際は事務局までお知らせください。こちらの登録を変更させて頂きます。ご協力のほどよろしくお願い致します。

さんコープが取り組んでいる活動の紹介、今回は…

通所介護 (デイサービス)	訪問介護 (ヘルパー)	居宅介護 (ケアマネジャー)	居住事業 (老人ホーム他)	たすけあいサービ ス(家事代行サービス)	看護小規模多機能型 居宅介護・訪問看護	福祉グループ (組合員活動)
------------------	----------------	-------------------	------------------	-------------------------	------------------------	-------------------

「生協 10 の基本ケア」取り組みのご紹介！

全国の生協福祉事業で取り組んでいる「生協 10 の基本ケア」。さんコープも約 10 年前から取り組み、毎月事業所毎の取り組み事例を交流しています。また、3 年前からは組合員さんとの学習会も定期的に開催し、いつまでも元気に在宅生活を送れるよう、日々気を付けたいことや取り組んで欲しいことを学んでいます。今回は、そんな取り組みの一部をご紹介します！

3つの大切な考え方 ①尊厳を護る ②自立を支援する ③在宅生活を支援する

10 の取り組み

日常生活の土台を整える

1 換気をする

2 床に足をつけて座る

3 トイレに座る

4 あたたかい食事をする

5 家庭浴に入る

生き方死に方は自分で決める 意思決定の支援

6 座って会話をする

7 町内におでかけをする

8 夢中になれることをする

自分らしく豊かに 地域の中で生きていく

9 ケア会議をする

10 ターミナルケアをする

生協10の基本ケアの取り組み

②床に足をつけて座る

《取り組み内容》

訪問看護ステーション宮野

《対象者Tさん》

・4～5年前から間質性肺炎を患い、病状が悪化し5月に入院。
・8月に退院し自宅で過ごすが、病院ではベッド上生活、全介助で過ごしており、廃用症候群の状態。自宅での生活を希望されたが、病院と同じ生活を続けると自宅での自立が難しくなると判断し、今後の支援方針を検討した。

《支援方針》

- ①食事時間など出来るだけ床に足を付けて過ごす
- ②テープおむつを日中リハビリパンツにし、トイレで排泄を促す
- ③洗面など自身で出来る事は積極的に実施していただく

【退院後のご自宅での様子】
呼吸機能の状態を観ながら、足が床につく状態を作って座位を取ってもらった。ベッドに横になるしかないと考えておられたご本人は自力で座れることに驚き、喜ばれた。



「座れた！」自力で座位を保てることにご本人もご家族も驚かれ、そして喜ばれました。

【看多機での様子】
自宅での介護負担軽減により在宅生活を送れるように看多機登録いただき、泊りを含めて利用開始。看多機・訪問看護で自立に向けた支援を行い、出来ることがさらに増え、それに伴い意欲も増加。



自力で座れ、トイレで排泄出来るようになったことで、徐々に活力が生まれ、短期間で驚くほどのADL（日常生活動作）向上がみられました。

訪問看護では退院直後の方に関わる事が多く、入院生活で「患者」になったままの状態でご自宅に退院されるケースも少なくない。
この方は長期の療養を経て住み慣れた我が家での生活が始まり、体調に合わせて自立に向けた支援ができた。今後も在宅で出来るだけ自立したその人らしい生活ができるよう関わっていききたい。



毎月、各事業所の取り組みを発表・交流し、より良い取り組みへ繋げられるよう学習しています。



組合員さんとの学習会では「生協 10 の基本ケア」の目的やポイントについて学びます。また現場職員も参加し、日々の体操や事例報告があり、参加された組合員さんは皆一生懸命学習されています。



ご興味おありの方、参加ご希望の方は、お気軽に事務局までお問合せ下さい！

